

陳 情	受 理 番 号	38	受 理 年 月 日	令和3年11月25日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	青少年児童への恒久的なマスク着用の有害性についての調査と配慮を求める陳情書					

陳情書

青少年児童への恒久的なマスク着用の有害性についての調査と配慮を求める要望書

平素より市民の社会生活の改善にご尽力賜り感謝申し上げます。

さて、県内では小中高校などの各教育現場にて、新型コロナウイルス感染対策のための施策を執り行っておられるかと存じます。

昨今、青少年や児童だけでなく日本社会全体において新型コロナウイルスに関連した"コロナ差別"や、それに伴う家庭や地域での意見の相違による対立など、コロナ禍以降の自殺者数増加からみても、職場・教育現場・家庭での中長期的な慢性ストレスによる診療内科の受診数の急増などを鑑みるに精神的負担の解消が望まれている状況ではないかと懸念しております。

医療行為に対する見解の周知や対策は簡単には行えない状況は重々承知の上ですが、これらの慢性ストレスなどの精神的負担の最たるものが、厚労省や教育委員会などの通達を離れた部分で各社会現場で感染対策と言う名目で行われるマスク恒久着用の圧力ではないでしょうか。

マスクの常時着用は、単純に自己飛沫による口腔内細菌の繁殖などの感染症罹患確率をむしろ上げてしまう懸念もあると伝え聞いておりますが、それ以上に慢性的な酸素吸入の不足(酸欠)と、保健所のガス殺処分にも使われている二酸化炭素の過吸入が、認知能力の低下ばかりか脳機能障害まで発生させる要因になっていると海外の医師の研究報告もあがっているようですが、日本国内でその認識と恒久的対策が取られていないことに心配しております。

つきましては以下の要望についてまずは青少年児童から調査と啓蒙周知を是非ともお願い致します。

【要望事項】

1 マスク常時着用が過剰に見受けられる青少年ならびに児童に対して心肺機能や呼吸器への負担による発育上の脳機能障害や死亡事故が起きないようにする為の啓発活動。

2 青少年ならびに児童へのマスク着用が必要な場面や必要ない状況、そしてマスク着用によって引き起こされる恒久的な認知力の低下や酸欠・二酸化炭素の過吸入による脳神経の損傷があるなどの科学的根拠に基づいた知識の伝達、ならびにその為に必要な国内の医学的根拠・検知の調査とその内容の周知の徹底

■参考資料

- ・咳エチケットで感染拡大防止（PDF形式：1,113KB）PDFファイル

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/cough_etiquette.pdf

(経済産業省 <https://www.meti.go.jp/> >新型コロナウイルス対策 > マスク・消毒液・ワクチン等の状況 > その他医療関連製品について内の、よりよく知って頂くためのコンテンツや取り組みについて > [咳エチケットで感染拡大防止をするためのポスターを作成しました](#) ページ内)

- ・マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14297.html

(厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/index.html> ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 障害者福祉 > マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について)

- ・ドイツの神経学者がフェイスマスク着用に警告「酸素欠乏は永久的な神経障害を引き起こす Henna Maria <https://blog.goo.ne.jp/beingtt/e/afa5c793b8c553718ad5ca15bda5127c>

(ドイツのマーガレット・グリーズブリッソン博士によるフェイスマスクによる酸素不足と二酸化炭素の再吸入が、

ごく短時間であったとしても脳神経細胞の不可逆的な損傷や死滅を起こすことについて警告した文書の和訳です。)